

事務事業名		交付金活用交通安全道路環境整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	公共土木G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(12)生活道路の整備		担当者名	石原裕太	電話番号	0854-40-1063
	目的	対 A)市民(道路利用者) B)生活意	図 市内を安全に移動できる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業	(内線)	2472
	対象	道路(市道)		0 1 4 0 0 2	大事業名	道路施設管理事業	
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理		1 0 1 0 1 1	中事業名	交付金活用交通安全道路環境整備事業	
	目的	対 道路利用者	意 図 安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (26 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・路肩整備、防護柵整備、道路標識新設、側溝整備を計画的に行い、道路の安全性を高める。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
		・路側整備 ・転落防止柵設置 ・側溝整備	・路肩整備 ・防護柵整備 ・道路標識新設 ・側溝整備			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 路肩整備	箇所	1	1	1	1
	イ 防護柵整備	箇所	2			
	ウ 側溝整備	箇所	1			1
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	①生活道路の利用者 ②雲南市道	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		イ 雲南市市道延長	km	1,158	1,160	1,112	1,112
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	60.0	71.9	69.2	59.5	
	イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	71.0	51.7	53.3	70.5	
	ウ 施工箇所	箇所	4.0	1	1	1	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
・市道西日登平田線路肩整備工事4,880千円	事業費内訳	国庫支出金	千円	4,101	1,944	3,033	2,825
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	2,208	1,048	1,847	2,175
	事業費計(A)	千円	6,309	2,992	4,880	5,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
延べ業務時間		時間	80	80	80		
人件費計(B)		千円	313	317	326		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,622	3,309	5,206			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
安全確保のため必要性が高いものから順に整備を行っている。地域要望も多い。また、高齢化に伴う道路の安全性を高める事業は、今後、更に事業費が必要となってくる。	・防災・安全社会資本整備交付金を活用することで、改善予算を確保し、計画的な改善の早期対応を目指している。 ・道路維持管理計画やサイン計画を策定し、改善事業を実施している。	・市民から危険箇所等多数の改善要望。 ・議会から維持修繕や改善の重要性と着実な実施の指摘がある。

事務事業名	交付金活用交通安全道路環境整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 交通量や受益状況から道路規格を決定しているため、向上の余地は無い。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 交通の円滑化や安全性の向上に寄与することから、事業中止による住民生活への影響は大きい。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 ・道路維持管理及び改善等に必要経費である。 ・改善要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声もある。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 ・市内全域の道路維持管理及び改善を行うものであり公平である。 ・市が行うべき道路維持管理及び改善であるため、受益者負担はない。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ・本事業は市民、議会及び職員にも事業効果について理解を得られていると考えている。 ・対応できなかった改善を計画的に行うことができ、道路利用者の安全が確保できる。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
道路の局部改良事業であることから、事業効果の早期発現が見込まれる事業箇所の選定が重要となる。																								